

42 たげじょう めいひ 多気城運命の日

伝承地：田下町



(多気山)

多気城から早馬にて見舞の使客をつかわした。幕府方では、あまりの早さの見舞に驚いて早くこられたわけをたずねると、江戸城を見おろす高い所に城を構えていることを話したので、気に入られず、間もなく廃城を命ぜられたという。

宇都宮の西端に、不動尊で有名な多気山がある。この多気山は城山と呼ばれ古くから山城があったことでも知られている。

多気山に城が築城された時期は康平年間とも天正年間ともいわれているが、定かではない。

この多気城には次のような話しが伝承されている。

ある年の秋、大江戸が大火災にあった時のことである。

